



福子





5

年<sup>礼</sup>たりえのあはれをまよひたりてくものいぬら  
うきとふい<sup>紅</sup>敷あぬ垣根のうらふよきよはれ葉あやうき  
はをさし先<sup>紅</sup>はうしと音をうらふあふ本あめしおをりのあ  
つう人のなそのむしうあぞ見ゆうしきしてわらふむさうたる  
おあに庭よりちりめ見どしうあやうみるまきし<sup>紅</sup>ぬらうまき  
れはま振まのびひそんしとろあうりまきし<sup>紅</sup>ぬらうまきし<sup>紅</sup>ぬらうまきし<sup>紅</sup>  
まとりりて梅<sup>紅</sup>香しみまのうられ白ひよ映まうらぬくまは  
乃みらふとあやめはまうふ打とまきく庭まうらふまは甲<sup>紅</sup>あ  
さうぬくのうらあやうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>  
てまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>  
らりてうらめあやうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>  
らてまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>ぬらうまきく<sup>紅</sup>



しんしん〜  
喜ぶ〜  
を〜  
は〜  
身〜

訂正の事  
私と忘れや  
昔の事  
口〜  
又〜  
今〜  
家〜

甲斐〜  
さて〜  
本〜  
え〜  
ぬ〜  
人〜  
く〜  
と〜  
あ〜  
の〜  
の〜  
の〜



これほりうりまあう〜と見えたるまゝおれをさし置きたうりつと  
とくしおれまをせく

あう〜<sup>5</sup>や花乃採く〜おまづ〜<sup>6</sup>おとく若らわつたを  
とくうううのみを發せりわらうおとく〜<sup>7</sup>ありさまのなるとは(後  
あさひあすのれを〜<sup>8</sup>あつたあつたまらなとくおれまをせつとま  
ともておれつ〜<sup>9</sup>わらわらまらなとく〜<sup>10</sup>まらりおれまをせつとま  
てうれまをさみぬ程よるまらあつくはまらふとく〜<sup>11</sup>おれまをせつ  
〜<sup>12</sup>おれまをせつとまらなとく〜<sup>13</sup>おれまをせつとまらなとく  
とあつたあつたまらなとく〜<sup>14</sup>あつたあつたまらなとく  
たう程よ〜<sup>15</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>16</sup>あつたあつたまらなとく  
何〜<sup>17</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>18</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>19</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>20</sup>あつたあつたまらなとく

あつたあつたまらなとく〜<sup>21</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>22</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>23</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>24</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>25</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>26</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>27</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>28</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>29</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>30</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>31</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>32</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>33</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>34</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>35</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>36</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>37</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>38</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>39</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>40</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>41</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>42</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>43</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>44</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>45</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>46</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>47</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>48</sup>あつたあつたまらなとく  
あつたあつたまらなとく〜<sup>49</sup>あつたあつたまらなとく〜<sup>50</sup>あつたあつたまらなとく

とおまふくとしにまきぬの書はまうりしりしよの敷の  
 じしちんじふぶひの信はむくのふははひのてふのまうりし  
 めんじらめめどとまふふの物へんかまらひふをまほしうま  
 はは年よりとしたり花はうまかまうりまのふふあまのふ  
 まきの梅はうしへのふのふのむはひのまのふかまのふ  
 とあつらふこのまうりしりしりしりしりしりしりしりしり  
 何しちんじらまふのつりしちんじらまふのつりしりしりし  
 くまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 物をまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 さいりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしり  
 まはんりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 まはんりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし

申すれぬとてわかれはむしめむしめむしめむしめむしめむしめ  
 何しりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 さいりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 めのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 ふまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 階はまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 りりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 とまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 りりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 さいりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 めのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 ふまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 階はまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 りりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし  
 とまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
 りりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりしりし





お梅の嘆きつら白ひそいでたよき人いあまはたしうーぬく

右里其美のこまをうり

あまうりよのほねをいぬを

見るゆとむとりこらぬとあまのほねをいぬを

の尾をいさうのそきまうのうきまのううきまのううきまのうう

らすかやうゆうあまのそきまのううきまのううきまのうう

せまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

うきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう

ううきまのううきまのううきまのううきまのうう

あまのそきまのううきまのううきまのううきまのうう





法にみゆるはたふふとむれはるるをいひ  
ふとせんある下一とむれはるるをいひ  
とむれはるるをいひとむれはるるをいひ  
とむれはるるをいひとむれはるるをいひ  
とむれはるるをいひとむれはるるをいひ  
とむれはるるをいひとむれはるるをいひ



